



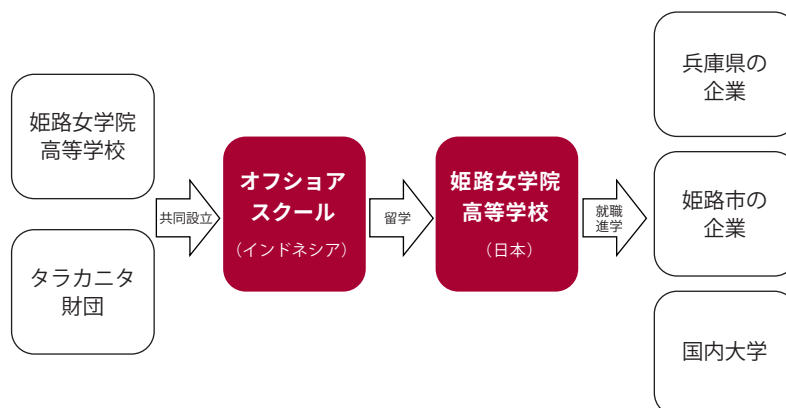
インドネシア・タラカニタ財団とのオフショアスクール設立覚書署名について

6月15日、学校法人摺河学園（理事長：摺河祐彦）が運営する姫路女学院高等学校は、インドネシアのタラカニタ財団（理事長：ヨセフィン・トリ・スングリ）との間で、国際連合で採択された SDGs の精神に基づき、持続可能な社会を構築するとの共通認識の下、タラカニタ財団が運営する中学校に本校のオフショアスクール（中学校）を設立する覚書に署名しました。本オフショアスクールを設置する中学校は今後選定され、来年度の開校を予定しています。

本オフショアスクールは、インドネシアの中学生に対して、現地の義務教育を受けながら、日本語や日本文化、日本の理数科教育、さらには姫路女学院の SDGs 教育のメソッドを取り入れた教育を提供するものです。オフショアスクール修了後は、姫路女学院高等学校に進学し、日本人生徒と共に姫路で高校生活を送ります。高度な日本語力・英語力に加えて、日本の礼節を始めとした「日本のこころ」を育んだ卒業生は、国内大学への進学並びに姫路市内における就職が期待されます。就職を希望する生徒に対しては、地域とのつながりを重視する観点から、特に姫路市を中心とした兵庫県内の企業とのマッチングを図ります。

オフショアスクール構想によりインドネシア人生徒を受け入れることにより、姫路女学院高等学校で学ぶ日本人生徒も、歴史や文化等にて異なる背景をもつ同年代と共に学校生活を送ることを通じて、自然と社会の多様性を理解し、世界の「つながり」を肌感覚で感じる貴重な機会となります。これが姫路女学院の英語名称を Himeji International School とした所以でもあります。

姫路女学院高等学校は、変革を求める SDGs マインドでオフショアスクール構想を着実に進め、持続可能な社会の構築に貢献していきます。



（参考）タラカニタ財団

1952年にインドネシアで設立されたカトリックの教育財団。インドネシア全土に幼稚園から高校まで計61の学校を運営。2013年、タラカニタ第1高等学校と姫路女学院高等学校は姉妹校提携。